

仕 様 書
(物 品 購 入)

品 名	製 造 会 社 名	数 量 (単位)	同 等 品 に つ い て (可・不可)
	規 格 ・ 品 番		
消防吏員雨衣	例示品 【メーカー】 MAEGAKI 【製品名】 AP2000 ゴアテックス レインスーツ 【色】 オレンジ	143 着	<u>可</u>

- 納 期 令和8年10月30日(金)
○ 納入場所 三原市消防本部
○ 所 管 課 消防本部総務課 (担当者:坂本 TEL:0848-64-5910)

消防吏員雨衣仕様書

三原市消防本部

2 型式

雨衣上下型（上衣、下衣、アウトフード、収納袋）本体縫い目は防水処理されていること。

上衣	全体の形状	ジャケット型	
	主要部の形状	前立て	襟先までの左右のフラップと、襟先までファスナーによる三重構造とし、前立ヒヨクボタン6個止め。左右の前立てフラップは、ファスナー縫付部から14mm以上外側に縫付の事。 左右の前立てフラップと、身頃の縫付け部分裏側には、防水目貼りテープを溶着する。
		衿	スタンドカラー、襟裏に立体メッシュ使用。 フード取付けボタン5個付。 襟と身頃、及び、襟と前立ての縫合わせ部分には防水目貼りテープを溶着する。
		身頃	背中縫目なし。 左右脇に、雨蓋付ポケット。 裾は、丸ゴム絞り式とし、右端にコードロックをテープで縫付固定し、ワンタッチにて絞り調節可能。
		袖	セットインスリーブ型。 袖口は、ゴムシャーリングと、持出しタブ付面ファスナーによる調節式。
		フード	つば先出型フード。 後部に、持出しタブ付面ファスナーによる、大きさ調節付。 フード左右に、丸ゴムドローコード（コードロック付）にて、大きさ調整付。
下衣	全体の形状	丸ズボン型	
	主要部の形状	腰部	腰部は30mm幅のゴムで絞り、6mm幅の平ヒモにて調節可能とする。
		本体	パンツ本体は、4枚接ぎとし、履き心地の良いものとする。
		裾	裾は、フラップ式面ファスナー2箇所、裾廻り調節可能。 本体側メス面ファスナー縫付け部分裏側は、防水目貼りテープを溶着する。 裾廻りは長靴を履いたまま、着脱できるよう広くすること。
収納袋		<ul style="list-style-type: none"> * コードロック付ドローコードにて、開口部絞り式袋。 * 開口部を広くし、入れ易い大きさとする。 	

3 材料規格

(1) 主生地

表生地	多孔質 ePTFE を基材とするフィルムをポリエステル布とナイロン布でラミネート加工した三層構造		
生地	表側	ポリエステルタフタ	ポリエステル 100%
	中側	透湿防水素材	ePTFEフィルム(ラミネート加工)
	裏側	ナイロントリコット	ナイロン 100%

項目	規格	試験方法
品名	雨衣用生地 3層品	
構造	ポリエステル布に ePTFE フィルムとナイロントリコットをラミネート加工した三層構造	
色相	オレンジ	
組織	平織	JIS L 1096
混用率	ポリエステル 100%	JIS L 1030
織度	たて 90dtex±5% よこ 90dtex±5%	JIS L 1096
密度	たて 400本/10cm以上 よこ 350本/10cm以上	JIS L 1096
厚さ	0.3mm±0.10mm	JIS L 1096
質量	150±20g/m ²	JIS L 1096
染色堅ろう度	水 4級以上 耐光 4級以上 洗濯 4級以上 摩擦(乾・湿) 3-4級以上 汗(酸・アルカリ)4級以上	JIS L 0846 JIS L 0842 JIS L 0844 A-2号 JIS L 0849 II形 JIS L 0848
寸法変化	たて ±3.0%以内 よこ ±3.0%以内	JIS L 1096 E法
引張強さ	たて 700N以上 よこ 500N以上	JIS L 1096 ラベルドストリップ法 5cm幅
引裂強さ	たて 20N以上 よこ 20N以上	JIS L 1096 A-1法(シングルタング法)
耐水度	初期 350kPa以上 20回洗濯後 350kPa以上	JIS L 1092 B法(高水圧法) (初期と20回洗濯後の耐水度を測定) 目皿使用、ニット面より加圧 洗濯条件: JIS L 0217 103法 タンブル乾燥
撥水度	初期 4以上 50回洗濯後 3以上	JIS L 1092 スプレー試験 (初期と50回洗濯後の撥水度を測定) 洗濯条件: JIS L 0217 103法 タ

		ンブル乾燥
透湿度	1670g/m ² ・h 以上	JIS L 1099 B-1 法
透湿度	450g/m ² ・h 以上	JIS L 1099 B-2 法
湿式屈曲試験	48hr 連続水洗後 漏水なし 生地に剥離がないこと	①ISO 6330 B タイプ洗濯機に水を入れ、試料及び負荷布を投入し、連続水洗を 48hr 行う。 (水量 60±4 リットル、試料 60cm×全幅、負荷量 900±90 g、水温 45℃以下) ②水洗後乾燥を行い、JIS L 1092 A 法に規定する耐水度試験装置で幅方向 5 点に 20kPa の水圧を 2 分間加え、漏水の有無を評価する。

(2) 目止めテープ

項目	規格	試験方法
品名	3 層品用目止めテープ	
構造	多孔質 ePTFE を基材とするフィルムにナイロン布と熱可塑性樹脂をラミネート加工した三層構造	
色相	生地裏面と同系色	
幅	22mm	
耐水度	初期 350kPa 以上 20 回洗濯後 350kPa 以上 (接着加工後)	JIS L 1092 B 法(高水圧法) (初期と 20 回洗濯後の耐水度を測定) 目皿使用、ニット面より加圧 洗濯条件：JIS L 0217 103 法 タ ンブル乾燥
接着加工方法	ホットメルト方式	

(3) 副材料

部材名	使用箇所	規格
立体メッシュ	衿裏	SP-008 東レテトニット(ポリエステル 100%)
ファスナー	上着前	5CN OP DA8W E(YKK)
ボタン	上着前立て・襟フード	プラスチック樹脂ボタン
面ファスナー	上着袖口 フード	面ファスナー 16mm 巾
	ズボン裾	面ファスナー 20mm 巾
コードロック	上着裾	CL-33
	フード	CSN200
	収納袋	CL-23
ゴム	上着裾・フー	丸ゴム 3mm 厚

	ド	
	袖口	OHP ゴム 20mm
	ズボン腰廻り	OHP ゴム 30mm
ヒモ	ズボン腰廻り 収納袋	PP コード 6mm 巾

4 縫製

(1) 縫製基準

運針数	10 針/3cm 以上とする。
縫代	特に指定するものの他、0.7cm(標準)とする。
返し縫い	1.0cm(標準)とする。
目止め加工	本体同士の縫合部分は、目貼りテープ(3層用)にて目止め加工する。
裁目処理	生地 of 耳は使用可とし、裁目でほつれ止めを要する部分については二つ折り、三つ折りのいずれかの方法により必要な処理をする。
その他	①各縫い合わせの上下糸に、つれやたるみがない。 ②縫目とびや、縫いはずれがない。 ③返し針は、完全に行う。 ④必要な箇所には合印を入れて、ポイント合わせには注意する。

(2) その他

背文字等	本部指定の文字(反射シルバー)入れを行うこと。 位置・サイズについては、参考図参照とする。
------	--

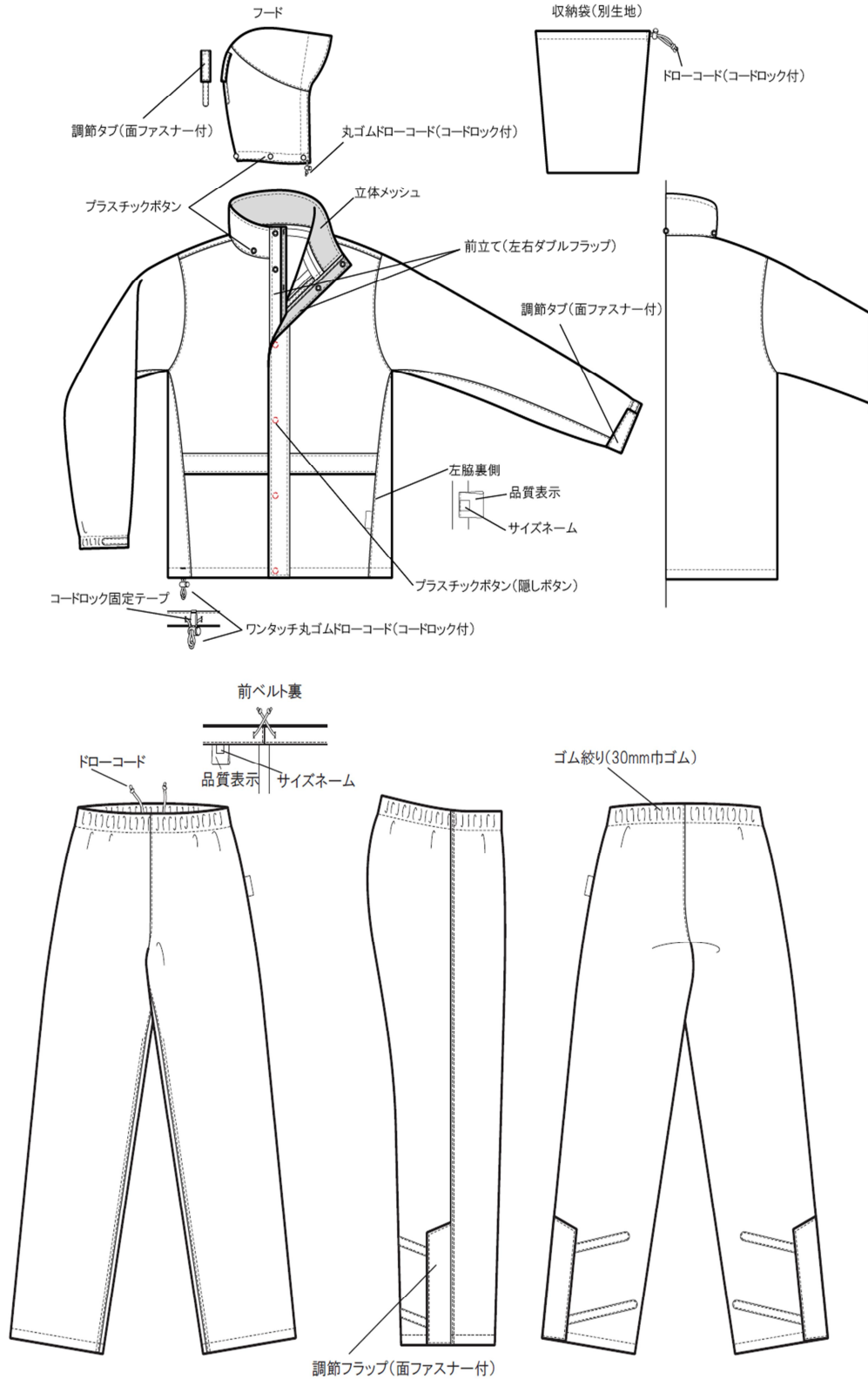
5 寸法

部位	S	M	L	LL	EL	4L	5L	BL	BLL	許容差	
適用身長	150~ 160	160~ 170	170~ 180	175~ 185	175~ 185	180~ 190	180~ 190	170~ 180	175~ 185		
適用胸廻り	75~ 100	80~ 105	84~ 109	88~ 113	92~ 117	100~ 125	110~ 135	100~ 125	110~ 135		
適用胴廻り	72~ 89	76~ 93	80~ 97	86~ 103	92~ 111	102~ 125	115~ 135	102~ 125	115~ 135		
上衣	着丈	68	71	74	77	80	83	86	74	77	1.5
	胸廻り	114	118	122	126	130	140	150	140	150	1.5
	衿丈	78	81	84	86	88	90	92	86	88	1.5
	袖口廻り	32	32	33	34	35	36	37	36	37	1
下衣	総丈	94	97	100	103	106	109	112	103	106	1.5
	股下	66	68	70	72	74	76	78	70	72	1.5
	前股上	31.5	32.5	33.5	34.5	35.5	36.5	37.5	36.5	37.5	1
	後股上	42.5	43.5	44.5	45.5	46.5	47.5	48.5	47.5	48.5	1
	腰廻り	102	106	110	116	124	140	150	140	150	1.5
	裾廻り	52	53	54	55	56	57	60	57	60	1

6 包装・出荷

包装	1着ごとに袋に入れ、サイズシールを貼る。
梱包	出荷の際、梱包資材外装に内容物のサイズ、数量を明記する。

7 参考図



8 参考図 (背文字)



105mm

広島県
三原市消防本部

310mm